

優秀賞



つながる建築 ～ミチの道～

岩満 海宇さん、水田 菜々子さん、山口 諒一郎さん、梅田 高哉さん
(大分大学)

別府市は多くの温泉が存在し、大分県を代表する観光地である。それ故に、多種多様な人が集まり、それぞれのコミュニティが分散している。それらコミュニティの境界線で隔たれている人々が偶発的に出会い、新たなコミュニティを共有できる共同体を作りたいと思った。

現状におけるコミュニティは都市の発展と共に引かれた直線的な道で区切られている。人口減少や空き地問題などから今後使われない建物が増えていくと想定し、減築・更地を促進することを考えた。それらによって生まれた余白に少しずつ自然を入れていくことで、人口規模や都市生活に見合ったスケールの都市や、道と道を繋ぐ新たな道が再構築されることを想定する。今までまっすぐに区切られ分断されていた別々の共同体が交わる場となり、新しい共同体が誕生する。

また、時間の経過と共に計画敷地から緑がはみ出し広がり侵食していくことで、都市の余白を自然に返すことを実現する。

